

## 国際社会における人権保障

難民の問題について

【シチュエーション】

20XX 年、S 国において軍事独裁政権打倒を目指す、民主化運動が行われていました。この運動に対し、S 国政府は武力行使による弾圧を行い、運動に参加していない一般人（女性や子ども）も多く犠牲になりました。

S 国からは、大勢の人が隣国である T 国に逃げ出しています。UNHCR は、S 国から避難する人たちを難民と認定しました。また、T 国まで逃げ出したあとに G 国へと第三国定住をする人たちもいます。

ワーク（1回目） ※Padlet（討議用）にログインする。

①配布されたカードを引いて、各自のエピソードを読む。

②個人の意見を整理する。

1：難民を受け入れる or 受け入れない

※難民は受け入れてほしい or ほしくない（別の手段で支援してほしい）

理由：

2：受け入れるとしたら、どのような支援が必要（提供すべき）か。

※1で受け入れない場合：支援するか、しないか。するとしたら、何をするか。

※難民は、どのような支援を希望（必要）するかを記入。

支援の形：

③Padlet（討議用）に入力する。【各自のエピソード欄（記名すること）】

タイトル⇒氏名、1：受け入れの可否、2支援の形を入力

④討議開始。各自の立場で意見を述べ、難民の受け入れの可否や支援の在り方について議論する。全員の意見がまとまれば【合意】まとまらなければ【不合意】に○を記入

【合意】 or 【不合意】

理由：

※UNHCRカードを引いた人は、後ほど「まとめ」で入力する係です。

## ワーク（2回目）

- ①座席を移動（一人残して）→配布されたカードを引いて、各自のエピソードを読む。
- ②個人の意見を整理する。

1：難民を受け入れる or 受け入れない

※難民は受け入れてほしい or ほしくない（別の手段で支援してほしい）

理由：

2：受け入れるとしたら、どのような支援が必要（提供すべき）か。

※1で受け入れない場合：支援するか、しないか。するとしたら、何をするか。

※難民は、どのような支援を希望（必要）するかを記入。

支援の形：

- ③Padlet（討議用）に入力する。【各自のエピソード欄（記名すること）】

タイトル：氏名、1：受け入れの可否、2支援の形を入力

- ④討議開始。各自の立場で意見を述べ、難民の受け入れの可否や支援の在り方について議論する。全員の意見がまとまれば【合意】まとまらなければ【不合意】に○を記入

【合意】 or 【不合意】

理由：

まとめ ※Padlet（まとめ）にログインする。

- ①UNHCRカードを引いた人：班の意見を入力する。【合意】【不合意】のいずれかに。
- ②全員：各班の意見を確認した上で、本授業の感想（現在の自分の意見・今後の行動など）を入力する。
- ③全員：振り返りWSに入力する。（クラスルーム）⇒入力後、提出する ㄨ切 12/1

エピソード カード

<p>あなたは、<b>難民</b>です。</p> <p>年齢は 16 歳です。家族は 4 人（父・母・自分・弟）です。政府軍に家を破壊され、命からがら逃げだしたので、お金も食料も満足にありません。S 国の公用語と英語を少しだけ話すことができます。父も母も怪我をしまして、すぐに働くことは出来なさそうです。</p>	<p>あなたは、<b>UNHCR職員</b>です。</p> <p>T 国の国境で、保護活動を行っています。現金給付や食糧支援、シェルターで女性や子どもを保護しています。本国と受け入れ国に対して、国際法を遵守するよう活動もしています。難民が増えているので、活動費は足りません。誰でも、どこでも、いつでも、安全を求める権利を守りたいと考えています。</p>
<p>あなたは、<b>T 国民</b>です。（受入国）</p> <p>隣国の難民たちの苦しい状況は、よくわかるが、テロリストが入国する恐れがあったり、難民が犯罪を犯すこともあると考えています。それに難民達を「近い」という理由だけで、押し付けている国際社会は無責任だとも思います。</p>	<p>あなたは、<b>G 国民</b>です。（第三国定住国）</p> <p>難民の置かれている境遇は、確かにひどく国際協調の考え方からも、積極的に受け入れていくべきだと考える。だが、労働力が少ない我が国では、難民ではなく、言葉が話せて、有能な G 国のためになってくれる移民を受け入れるべきだとも思う・・・</p>
<p>あなたは、日本人です。</p> <p>年齢は 16 歳です。北海道に住んでおり、いわゆる普通の高校生です。経済的に困ることもなく、保護者は自分の希望進路（大学・専門学校など）を実現するように応援してくれています。</p>	

## 国際社会における人権保障

### 【振り返り】 難民の問題について振り返り

以下の表は「難民の問題」の授業全体評価表です。授業を通じて、自分に当てはまると考えた部分に「○」や色を付けるなどして、担当教員に分かるように自己評価してください。

	4	3	2	1
<b>知識・技能</b>	「差別や抑圧のない世界」の実現に向けて、既知の知識や技能を統合・比較した上で、新しい知識・技能を築いている。	「差別や抑圧のない世界」の実現に向けて、既知の知識や技能を統合・比較している。	「差別や抑圧のない世界」の実現に向けて、知識を得ている。	「差別や抑圧のない世界」の実現に向けて、知識を得ようとしている。
<b>思考・判断・表現</b>	難民に関する諸課題について考察し、他者の考えとの共通点や相違点等を分かりやすく表現できる。	難民に関する諸課題について考察し、他者に分かりやすく表現できる。	難民に関する諸課題について自分の考えをまとめていく。	難民に関する諸課題について自分の考えをまとめようとしている。
<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	難民の問題について把握し、意欲的に解決策を模索している。	難民の問題について把握し、解決策を模索している。	難民の問題について把握している。	難民の問題について把握しようとしている。
<b>想像力</b>	経験や常識とつなげながら、筋道立てて予想ができたり結論を導き出したりすることができる。	筋道立てて予想ができたり結論を導き出したりすることができる。	知識や経験をもとに見通しをもつことができる。	勘や当て推量を超えようとしている。
<b>協働性 (対話力)</b>	自分の役割や責任を理解し、他者との協働や交流を通じて、リーダーシップやメンバーシップを発揮しながら行動できる。	自分の役割や責任を理解し、他者と協働的に行動できる。	自分の役割や責任を理解し、行動できる。	自分の役割や責任を理解しようとしている。
<b>社会性 (エンパワーメント思考)</b>	自分と異なった考え方や行動をする人たちがいる多様な社会を理解し、行動することができる。	自分と異なった考え方や行動をする人たちがいる多様な社会について、理解している。	自分と異なった考え方や行動をする人たちがいることを理解している。	自分と異なった考え方や行動をする人たちがいることを理解しようとしている。
<b>自己効力感</b>	自分の意見や行動が周囲に貢献したという実感を持ち、自信を持って取り組める。	自分の意見や行動に自信と根拠を持って取り組める。	自分に自信を持っている。	自分に自信を持つようとしている。

「行動する国際人」として、「差別や抑圧のない世界」の実現に向けて、あなたはどのように今後、行動しますか。(考えますか) ※5行程度記入  
 入力はココから

自分と異なった考え方や行動をする人たちがいる多様な社会で、必要とされる資質や能力はどのようなものだと思いますか。また、その力を伸ばすためにはどのようにすれば良いと考えますか。 ※5行程度記入  
 入力はココから